

所属学部/研究科	国際商経学部
所属学科または専攻	グローバルビジネスコース
学年	4年生
留学開始時の学年	3年生
留学先大学	カーティン大学（オーストラリア）
留学先所属学部/研究科	どの学部の授業でも受けることができたため、特定の学部には所属していません。
留学開始日	2024-01-26
留学終了日	2024-11-17
1. 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	英語力を伸ばしたかったため、英語圏の国で留学したいと考えていました。また総合大学で多くの学部があるカーティン大学では、専攻外の学問も学べるという点に惹かれ、オーストラリアのカーティン大学を選びました。
2. 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	TOEFLの対策本を購入してそれにそって勉強していました。
1. ビザの種類	Student (subclass 500)
2. ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	パスポート、Confirmation of Enrolment（入学許可書）、OSHC(海外留学生健康保険)の加入証明書
3. ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	Australian Governmentの公式ページでImmiAccountを作成し、個人情報などの入力、必要書類をアップロードする。
4. 面接の有無	なし
5. ビザ発行までの日数	1日
6. ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	
7. 荷物を別送しましたか？	いいえ
8. 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	
9. 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	
10-1. 日本から持参してよかったもの	ビーチサンダル、普段使っている化粧品やスキンケア用品
10-2. 日本から持参する必要がなかったもの	厚手のコートやジャケット
11. その他、渡航までに行った準備や手続きがあれば教えてください。（予防接種、健康診断、携帯電話等）	日本で使っているクレジットカードが海外でも使えるように(不正利用だと思われて支払い拒否されないように)、クレジットカード会社に電話をして、海外で約1年使用する旨を伝えました。
1. 利用フライト	乗継便
2. 航空会社・往路便名	AirAsia 関西国際空港 - クアラルンプール空港 (D7 533) クアラルンプール空港 - パース国際空港 (D7 236)

3. 現地空港到着時間	午前 (8:00~12:00)
4-1. 大学からの送迎	無
4-2. 有の場合、料金	
4-3. 現地空港から自分で移動した人は、現地空港から大学までの移動方法、所要時間、交通費を教えてください。	現地の友人に車で迎えに来てもらい、大学の寮まで送ってもらいました。空港から大学まで車で15-20分程度でした。
5. 渡航にあたっての注意点、アドバイスがあれば教えてください。	オーストラリアの祝日を確認しておくべきです。私はオーストラリアの祝日を確認しておらず、1月26日(オーストラリアデー)に到着しました。この日は祝日だったため、空港のStudy Perthという機関も大学の寮のオフィスの閉まっており、手続きが大変でした。
1. 入国するにあたって、準備したこと	
2. 入国後の隔離措置など	
1. 種類	学生寮
2. 形態	ベッドルームのみ個室
3-1. 部屋の詳細	専有面積 (m ²): 9 何人部屋: 8
3-2. ルームメイト	その他: 現地の学生、交換留学生、Curtin collegeの学生
3-3. ルームメイトの国籍	オーストラリア人、ポーランド人、シンガポール人、中国人、インド人、ブータン人、イギリス人
3-4. 自室の設備	収納 (クローゼット) 机 椅子 ベッド インターネット設備 (無線) 書棚 その他: 扇風機、ヒーター
3-5. 共有部分の設備	共有スペース Wi-Fi テレビ ソファ キッチン トイレ 洗面台 シャワー 冷蔵庫
4. 居住環境、衛生状態など	男女4:4の8人部屋でした。キッチン・リビングルームは男女共用ですが、トイレ、シャワールーム(2つ)、洗面所は寮内に2つあり、男女で分けられていました。寮自体は古かったですが、月に1回清掃チェックがあり、掃除当番も月ごとにローテーションで決められているので清潔に維持できていました。
5. 滞在先から大学へのアクセス	徒歩10-15分
6-1. 普段の食事の状況	学内 (食堂、カフェ等) 外食 テイクアウト 自炊
6-2. 上記の中で一番多く利用したもの	自炊
6-3. 食事についてのアドバイス	外食だと費用がかかる上にカロリーが高いものが多かったです。そのため自炊をする際は野菜を多くとったりして調節するように心がけるといいと思います。
1. 現地大学到着時/後に行った手続き	学生証発行
2-1. 渡航国の銀行口座の開設	有
2-2. 有の場合、銀行名	Commonwealth bank

3. 入国時、持参した現金額	~3万円
4-1. 日本から持参したカード	クレジットカード
4-2. カードの内訳	クレジットカード3枚(VISA、マスター、アメリカンエキスプレス)
5-1. 主に利用した支払い手段	クレジットカード
5-2. 最も利用した支払い手段	クレジットカード
6. お金の持参方法や、支払い手段、管理等のアドバイスがあればお願いします。	クレジットカードの支払いが主流で、ほとんど現金は使いませんでした。
7. 学内施設（生活関連施設）	ATM スーパー コンビニ ジム
8-1. 渡航先での携帯電話使用について	日本から持参したものを使用（現地のSIMを利用）
8-2. 渡航先での携帯電話・インターネット使用について特記事項があれば記入してください	寮含む大学内はeduroamが利用でき、通信速度も問題はありません。平日は基本的に大学内にいるため、wi-fiのギガはあまり必要ないと思います。
1. 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について	交換留学生を含む多くの留学生を受け入れているため、国際色豊かな大学です。学生は非常に勉強熱心で、困ったときに助けてくれる優しい人ばかりでした。また留学生のサポートも手厚く、何か問題や不安なことがあってもすぐに相談できる場所がありました。 キャンパスは非常に大きく、たくさんの自然に囲まれていて開放感があります。定期的にイベントが開催されていたり、学生以外の立ち入りも許可されているので、キャンパスは常に活気にあふれています。
2-1. オリエンテーションの有無	有
2-2. オリエンテーションの参加	任意
2-3. オリエンテーションの内容	オーストラリアや大学、VISAなどについてのクイズ形式の説明、学生証発行の案内、アクティビティへの勧誘が主でした。ほとんどのイベントでフリーランチやスナックがもらえました。 また、オリエンテーションは自分の興味のあるものだけ参加できますが、交換留学生向けのオリエンテーションは参加必須でした。
3-1. 履修登録のタイミング	到着後
3-2. 登録方法について	大学のOASISというアプリをログインして、eStudentのMy Enrolmentから登録します。渡航前に履修したい授業のリストを提出しますが、渡航後でも変更可能です。
4-1. 授業について	1コマの時間:90-180分 1週間の授業コマ数:3-5コマ
4-2. 授業を理解して受けるための努力や工夫したこと	わからないことがあったときに気軽に聞ける友人を各クラスごとに作る。授業についていけなかったり、わからない内容がある場合はすぐに教授に相談する。課題で出された予習・復習は必ずする。
4-3. 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。	
5. 学修面で受けられるサポートと利用状況	大学の図書館のウェブサイトからほとんどの本を読むことができます。大学のレポートなどで参考文献が必要な場合は、オンラインで閲覧して利用していました。
1. 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？	学期前に1週間オリエンテーションウィークがあり、大学各地で学生同士が交流できるイベントが開催されています。そこで積極的に話しかけに行き友人を作りました。また同じ授業で出会った友人は、授業後にランチに行ったり、一緒に課題をしたりすることで次第に交流を深めることができました。
2. クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。	私はCurtin Japanese Clubに所属していました。そこでは週に2回セッションがあり、日本語や英語を使った簡単なゲームをしながら交流したり、日本文化を学べるイベントがありました。 また、Curtin volunteerのCHAtsというセッションに参加したこともあります。これはメンティーとしてでしたが、英語に苦手意識を持っている留学生のためのイベントで現地大学生と簡単なゲームをして交流したり、英語を話す機会を設けてくれます。

3. 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？	テストや課題週間の時は寮や図書館で勉強していましたが、何も課題がないときは友人とカフェやビーチに行ったりして過ごしていました。長期休暇では、友人たちと車で6時間ほど離れた町までロードトリップに行ったり、日本人の友人とシドニーやパリにも行きました。
4. 留学中に就職活動をした人は、どのようなことをしたか教えてください。	
5. 現地の生活に役立つ情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。	
1-1. 合計費用	230万
1-2. 留学費用内訳	渡航費:20万 保険代:20万 医療費:1万 食費（1ヶ月あたり）:4-5万 家賃（1ヶ月あたり）:10万 雑費（日用品等）:3万 通信費（1ヶ月あたり）:4,000円 テキスト:0円 その他:32万
1-3. その他の内訳	学生VISA7万、被服費5万、娯楽費15万、交通費5万
2-1. 奨学金の受給	無
2-2. 有の場合、奨学金名と金額（1ヶ月あたり）	
2-3. 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	
1. 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください	OSHC（オーストラリアの学生ビザで滞在する場合に加入が義務付けられている海外留学生健康保険）
2-1. 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありますか	はい
2-2. 体調を崩した際、どのように対処しましたか。	GP(General Practitioner)と呼ばれる総合診療医に受診しにいきました。軽い風邪などは、日本から持参した薬を飲んで対処しました。
3-1. 留学中に病院に通いましたか？	はい
3-2. 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	ネットで大学から一番近くのGPをマップで探しました。事前にオンライン予約が必須です。1番近いものだと、大学から徒歩5分のところにあります。
4-1. 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	いいえ
4-2. 落ち込んだ時、留学先で誰に相談しましたか？	
4-3. 落ち込んだ時や、ふさぎ込んだ時のアドバイスがあれば教えてください。	
5. 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	困ったことは特にありませんでしたが、夜のCityは治安が悪く危険を感じました。夜(特にperthの中心部)は絶対に1人で出歩かないようにすることと、夜のバスも危険なのでなるべくUberを使うようにしていました。
6. 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知	道路を横断する際に車に道を譲ってもらった時は、手を挙げて感謝を表現する。乗りたいバスが近づいてきたときは、手を挙げて乗車するという意思を示す。

<p>っておくほうがいいことがあれば、教えてください。</p>	<p>North Bridgeは夜中大変危険なため、一人で出歩かない。</p>
<p>7. 出発前に県大や留学先から提供してほしい情報があれば、教えてください。</p>	<p>寮についての詳しい情報、現地の交通手段についての情報</p>
<p>1-1. 卒業予定年月</p>	<p>2025年3月</p>
<p>1-2. 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業（修了）までの予定を教えてください。</p>	
<p>2. 今後の目標、進路について教えてください。（留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください）</p>	<p>休学していないため大学は4年で卒業予定です。留学中に就職活動をしていなかったため就職は1年遅れてしまいますが、留学経験を活かせるようなグローバル企業に就職することが今後の目標です。</p>
<p>3. 留學生活の感想と、留學前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。</p>	<p>はじめは全く新しい環境で頼れる人もいない中、慣れないことばかりで1年間やっていけるか不安でした。しかし徐々に授業や英語に慣れ、友達ができて楽しく充実した日々を過ごすことができました。なにより、語学面や精神面で最も自分が成長できた10ヶ月間でした。</p>
<p>4. 次に留學する人へのメッセージ</p>	<p>留學前も渡航直後も不安だとは思いますが、周りには助けてくれる人がたくさんいるし、何があってもすぐに対処してもらえるので心配はいりません。全力で勉強して全力で楽しんでください！学生時代に素晴らしい機会に恵まれて留學できていることを忘れず、家族や周りの人、支えてくれている人への感謝の気持ちを常に持って留學を楽しんでください。応援しています。</p>

交換留学 帰国後報告書

交換留学中の学修記録

記入年月日	2025年1月24日		
学部・研究科/学年	国際商経学部	4年	留学開始時 3年
留学先大学	カーティン大学		
留学先所属学部・研究科	☒特定の学部等に所属しなかった		
留学期間	2024年 1月 26日	～	2024年 11月 16日

単位について

留学先で取得した単位数合計	125 単位
本学で認定申請した単位数合計	単位
本学で認定された単位数合計	単位
☒ 単位認定の申請をしない 理由：留学前に卒業に必要な単位数を取得していた為。	

履修科目について

①

登録授業名（現地言語で）	Australian Studies				
履修学期	Semester 1	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル	☒講義 ☒チュートリアル ☒ディスカッション ☐プロジェクト ☐実験 その他（ ）				
授業内容	オーストラリアの植民地時代の歴史やオーストラリアンアイデンティティ、先住民族について講義を聞いたのちにディスカッションを通して理解を深める。				
試験・課題	ショートレポート2つ、ディスカッションペーパー				

②

登録授業名（現地言語で）	Organisational Behaviour				
履修学期	Semester 1	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル	☒講義 ☐チュートリアル ☒ディスカッション ☐プロジェクト ☐実験 その他（ ）				
授業内容	組織行動に関する様々なセオリーを学び、それを用いてクラスでディスカッションをしたりグループごとにケーススタディをしながら組織にまつわるあらゆる問題について考える。				
試験・課題	個人スピーチ(Elevator pitch)、レポート、グループプレゼンテーション				

